

## 北神けいろうの国政報告：2月号

いつも大変お世話になっています。

### 選挙しない総理は、求心力がない

麻生総理は、景気対策を早急にとりまとめられず、失言をくりかえし、求心力をうしなっています。

総理は就任直後から「選挙より景気」というもっともらしい発言をしていました。一方、民主党は「選挙をやりたがっているだけだ」と批判されました。しかし、私たちは「百年に一度の危機」だからこそ、選挙をやるべきだとうたっているのです。小泉、安倍、福田、麻生と勝手に**総理を変え、政策変更をしたわけですから、当然、国民の信を問うべき**です。そして、**内閣や政党や官僚にたいして強力な指導力を発揮するためには、「私は国民に支持されているんだ」という証しがどうしても必要**なんです。

結局、本音では「選挙が負けそうだから、当面は、選挙はやらない」ということで、通常国会までできてしまいました。

あんのじょう、自民党議員は、麻生さんを自分たちで自民党総裁に選り、自分たちで内閣総理大臣に選りておきながら、さっそくはしごをはずしています。造反者も、離党者もでました。知人の自民党議員も「こんな総理では、いくら頑張っても落選だ」と嘆いています。

### 「北神けいろう」からポスター掲示のお願い!!

新しい政治活動用ポスターができました。自宅や店舗の外壁、フェンスなどへ、ポスターのご掲示の御協力をお願いいたします。

### 弱い麻生政権のなかで、官僚も好き勝手

また、官僚も「こんな力のない総理なら好き勝手できるなあ」と思いはじめています。国家公務員 OB が、出身の役所のあっせんで「天下り」をくりかえすことを、「わたり」といいます。これは自民党でさえ、民主党にたびたび指摘され、追及された結果、「わたり」を根絶すべきだと考えています。

ところが、**官僚たちは、「必要不可欠な場合」には「わたり」を可能とする政令(法律にもとづく内閣の命令)をつくりました。そして、昨年末、麻生内閣はこの政令を閣議決定しました。**

総理は、「運用をきびしくする」といっています。しかし、これはあきらかに抜け道です。官僚たちは、ほくそ笑んでいるでしょう。

### 「わたり」は国民のためにならず

「天下り」の受け皿団体には、毎年、約12兆6000億円の税金が流れています。「消えた年金」「消された年金」の責任者である社会保険庁のある長官 OB は、6回も「わたり」をし、退職金だけで総額3億6000万円ももらっている例もあります。

なによりも、**これをゆるせば、官僚は国民のために仕事をしません。**どうしても、自分をいづれ世話してくれる「天下り」の受け皿団体の方をむいて仕事をするでしょう。残念ながら、それが人情です。**「受け皿団体への予算は削らないけれども、国民の医療や年金予算は削る」という本末転倒な政治がまかりとおってしまうのです。**

官僚に「聖人君子」をもとめるような精神論は酷です。彼らが本来の志をとりもどせるためにも、**こうした政令を麻生総理は撤回すべき**です。